



改訂版

健康・医療情報 リサーチガイド @埼玉

あなたの「調べる」を応援します

 埼玉県立久喜図書館 

健康・医療情報リサーチガイド@埼玉

も く じ

■はじめに／健康・医療に関する情報探しのポイント	3
■ライフステージと健康管理	4
■コラム 「健康について調べたいときは図書館へ!」	5
■埼玉県立久喜図書館 健康・医療情報サービスのご案内	6
◆情報ナビ 病気について調べる	8
●事例 糖尿病のための検査の方法と、数値について知りたい	10
◆情報ナビ 医療機関・医師を探す	11
◆情報ナビ 薬について調べる	12
●事例 「リンデロン-V軟膏0.12%」の成分・効用について知りたい	13
◆情報ナビ 健康食品・サプリメントについて調べる	14
●事例 ヒアルロン酸が変形性関節症に効くのか知りたい	15
◆情報ナビ 診療ガイドライン	16
◆情報ナビ 闘病記・患者会を探す	17
◆情報ナビ がんの情報を入手する	18
●事例 多発性骨髄腫に関する資料を探している	21
◆情報ナビ 認知症・介護情報について調べる	22
◆情報ナビ 精神疾患・精神衛生について調べる	24
◆情報ナビ 発達障害の情報を入手する	25
◆情報ナビ 妊活情報を入手する	26
◆情報ナビ 専門論文を探す	27
◆情報ナビ 県内医療相談窓口	28
◆情報ナビ 県内の専門図書館	29



本書中で、このアイコンが付いている図書等は、埼玉県立図書館のいずれかで所蔵しています。



このアイコンは、インターネット上の情報であることを示すものです。

※本書に掲載した情報は、原則として平成30年3月に確認したものです。

はじめに

インターネットの普及はめざましく、誰でも手軽に医療や健康の情報を入手できるようになった反面、あまりに情報が多すぎて、必要な情報に行き着くことが難しくなっています。

インフォームドコンセントなどにより、治療法の選択等を自分で意思決定する時代。私たちにはあふれる情報の中から、**信用できる情報を探す力**、それが**自分に合っているのか判断できる力**が必要になります。

このリサーチガイドでは、健康・医療情報の探し方や基本的な資料・インターネット情報を紹介しています。皆様の健康管理の一助となれましたら幸いです。

健康・医療に関する情報探しのポイント

<どんな情報を利用するか・・・質の高い情報を利用する>

- 1 情報提供の主体が明確なサイトの情報を利用する
- 2 営利性のない情報を利用する
- 3 客観的な裏付けがある科学的な情報を利用する
- 4 公共の医療機関、公的研究機関により提供される医療情報を主に利用する
- 5 常に新しい情報を利用する
- 6 複数の情報源を比較検討する

<どう利用するか・・・情報利用は自己責任で>

- 7 情報の利用は自己責任が原則
- 8 疑問があれば、専門家のアドバイスを求める

<情報利用の結果は・・・

自ら検証する気持ちで、よりよい情報共有を>

- 9 情報利用の結果を冷静に評価する
- 10 トラブルに遭った時は、専門家に相談する

出典「インターネット上の医療情報の利用の手引き」

(日本インターネット医療協議会) <http://www.jima.or.jp/userguide1.html>

※項目の具体的な解説については上記のサイトをご覧ください。

ライフステージと健康管理



様々な病気・健康問題



図書館で
解決のヒントを
みつけよう！



- 実用書・専門書・雑誌文献の提供や取り寄せ



- 相談窓口・支援制度・支援施設の紹介



本を選ぶときのポイント

情報の鮮度に注意しましょう。

※医学的根拠のある本の場合、目安は出版から5年以内と言われています。(あくまで目安です。東洋医学など主題により例外もあります)

医学関係の本は改訂が多いため、最新版かどうかを確認しましょう。

患者会などの情報も



健康について調べたいときは図書館へ！



● 池谷のぞみ 氏

慶應義塾大学 文学部 教授

日本図書館情報学会 理事

著書に『図書館は市民と本・情報をむすぶ』（勁草書房2015）など

みなさん、健康や医療に関する情報をたくさんの中から選ぶのに困ったことはありませんか。埼玉県立久喜図書館には、豊富で新しい、吟味された健康や医療に関する本やデータベースがあります。検査や薬のこと、そして治療のことが書かれた本もあります。自宅で療養するときや、家族を介護するとき、治療を受けながら仕事を続けたいときに必要な情報もあります。発達障害やメンタルヘルスを理解するための本もあります。

探すのに迷ったら、ぜひカウンターで図書館員に声をかけてみてください。図書館員の方々があなたのプライバシーに十分に配慮して、必要な情報を探すことを手伝ってくれます。それからあなたが相談に行かれるといい窓口なども教えてくれるでしょう。

健康を維持したいという方にも、そしてご家族やご自分の具合がわるくなったときにも頼れる水先案内として、ぜひ図書館をご活用ください。

慶應義塾大学文学部
池谷のぞみ

図書館の 健康・医療情報サービスのご利用について

- 資料・情報の提供のみを行います。
- 特定の治療法や医療機関をお勧めするものではありません。
- 病気や薬に関する知識・情報は日々変わっています。ここにある情報がすべてではありません。
- 図書館員は、医学の専門家ではありませんので、病状の診断・治療等の判断をすることはできません。
- 健康・医療に関する知識を深めたり、医師や医療機関と相談する材料としてご活用ください。

埼玉県立久喜図書館

健康・医療情報サービスの ご案内



本

入門書から専門書まで約7,200冊！
病気・薬から看護学、栄養学まで幅広く所蔵。

雑誌

いま話題の情報は雑誌でチェック！『最新医学』
『内科』『精神医学』など約55タイトル所蔵。

**データ
ベース**

最新情報はデータベースで確認しましょう。
「医中誌Web」「JDreamⅢ」が利用できます。

**パンフ
レット**

相談窓口や専門機関から入手した、お持ち帰り
いただけるパンフレット類を提供しています。

詳しい情報はウェブサイトでもご覧いただけます。

埼玉県立図書館 健康・医療情報サービス

https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/health/health.html



がん情報コーナー
のご案内

➡ p.18

見て・聴いて・感じる
読書コーナー

➡ p.25

妊活情報コーナー
のご案内

➡ p.26

資料探しをお手伝いします

この薬の
成分・副作用
って…？



お困りのときは、情報探しのプロ・司書がインターネットだけではわからない調べ物をサポートします。

来館時はもちろん、電話、Webサイトからも質問を承っています。

ご利用の方のプライバシーを守ります。

お近くの図書館で お取り寄せができます

埼玉県立図書館で所蔵している資料は、県内の市町村立図書館でお取り寄せできます。最寄の図書館へお問い合わせください。



市町村立図書館



県立図書館

介護・福祉・教育・ビジネスなどの資料は 県立熊谷図書館で所蔵しています



県立熊谷図書館

埼玉県立図書館は、熊谷・久喜の2館が一体となり、様々なサービスを提供しています。

県立熊谷図書館の資料は、県立久喜図書館にお取り寄せできます。

〒360-0014 熊谷市箱田5-6-1 電話:048-523-6291

病気について調べる

自分や家族の病気について知りたい。そんな時には、まず用語辞典や、その病気の最新の入門書をいくつか読むと、治療方法や専門用語の意味について基本的な理解が得られます。もっと詳しく知りたいときには、専門書へとステップアップするとよいでしょう。

事典・用語解説



MSDマニュアル (MSD株式会社)

<http://www.msmanuals.com/ja-jp>

米国で刊行され、無償公開されている医学事典の日本語翻訳版。随時更新されています。トップページから、一般向けの「家庭版」、医療従事者向けの「プロフェッショナル版」が選択できます。



「病院の言葉」を分かりやすくする提案

(大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所)

<http://pj.ninjal.ac.jp/byoin/>



書籍版『病院の言葉を分かりやすく』（勁草書房 2009.3）もあります。



『標準・傷病名事典 Ver.3.0』（医学通信社 2015.4）



『医学書院 医学大辞典 第2版』（医学書院 2009.2）

家庭の医学



Yahoo!ヘルスケア 家庭の医学

(ヤフー株式会社) <https://medical.yahoo.co.jp/katei/>

家庭の医学検索の典拠資料は『家庭医学大全科 6訂版』。病名のほか、部位や症状からの検索も可能です。



QLife [キューライフ] 家庭の医学

(株式会社 Qlife) <https://www.qlife.jp/dictionary/>

家庭の医学検索では、病名・症状から検索可能。病気の解説、治療法などが調べられます。各項目の執筆者名・所属も掲載。



All About [オールアバウト] 健康・医療

(株式会社 オールアバウト) https://allabout.co.jp/r_health/

情報の日付、
典拠・執筆者の
確認を心がけよう



埼玉県のマスコット
さいたまっち

家庭の医学（つづき）

- 『家庭医学大全科 BIG DOCTOR 6訂版』（法研 2010.10）
- 『家庭の医学 新赤本 第6版』（保健同人社 2008.10）
- 『家庭医学大事典 ホームメディカ 新版』（小学館 2008.11）

入門書シリーズ

- 『やさしい〇〇の自己管理』シリーズ（医薬ジャーナル社）
※〇〇は病名等
図表やイラストが多く、わかりやすく解説されています。
医学書専門の出版社から発行されている、一般の方向けの入門書です。
(例)『やさしい多発性硬化症の自己管理 改訂版』(医薬ジャーナル社 2016.3)



- 『インフォームドコンセントのための図説』シリーズ（医薬ジャーナル社）
医師が治療や医療行為の内容を説明し合意を得るために、患者さんに見せながら説明することを目的としている本。医師向けですが、一般の方にもわかりやすいです。
(例)『悪性リンパ腫 インフォームド・コンセントのための図説シリーズ 改訂3版』(医薬ジャーナル社 2017.10)

- 『よくわかる最新医学』シリーズ（主婦の友社）
(例)『変形性ひざ関節症 よくわかる最新医学』(主婦の友社 2017.3)

図解で理解 体や病気のしくみがビジュアル化されわかりやすいシリーズ

- 『病気がみえる』シリーズ(メディックメディア)
(例)『病気がみえる vol.11 運動器・整形外科』(メディックメディア 2017.6)

専門書もみてみよう

- 『今日の治療指針』(医学書院)〔年刊〕
各科の病気に対する最新の治療法を掲載。網羅的に数多くの病気を掲載。
医師向けですが、家庭の医学のステップアップ版として使えます。


特定の診療科に特化したシリーズも刊行されています。
『今日の〇〇治療指針』(医学書院)※〇〇は病名・診療科名等

- 『標準〇〇学(Standard textbook)』シリーズ（医学書院）
※〇〇は診療科名等
医学生向けの教科書。豊富な写真、図表が見やすく全頁カラー。
(例)『標準解剖学』(医学書院 2017.3)


Q. 糖尿病を調べるための検査の方法と、数値について知りたい。


特定の疾患に関する検査について知りたいときは、その病気についての図書や診療ガイドライン⇒p.16 を見てみましょう。また、健康診断などの臨床検査一般について、数値の見方も含めて解説している資料やインターネットサイトもあります。

県立図書館の資料で調べる


 『糖尿病最新治療・最新薬 よくわかる最新医学』
(鈴木吉彦著 主婦の友社 2014.4)

「第1章 糖尿病の基礎知識」に、糖尿病の検査と結果について分かりやすく解説しています。問診でよく尋ねられる項目の例も紹介。


 『糖尿病最新の治療 2016-2018』(羽田勝計, 門脇孝編 南江堂 2016.2)
最新の糖尿病診断について臨床診断のフローチャートなどを掲載し、詳しく解説。3年毎に改版されており、新しい情報を紹介しています。

 『病気がわかる検査値ガイド 改訂第3版』(齊藤嘉禎著 金原出版 2016.8)
「糖代謝異常検査」の章で、血糖検査、75g経口ブドウ糖負荷試験について基準値や注意点を記載しています。巻末には索引もあり。

インターネットで調べる

 臨床検査AtoZ (一般社団法人 日本衛生検査所協会)
http://www.jrcla.or.jp/atoz/wexm_01.html

「検査と病気の関係」で、検査の目的、検査項目ごとの参考基準値、異常値の場合に考えられる主な疾患、検査時の注意点等を丁寧に解説しています。

 病気をチェック! 検査データが分かる (公益社団法人 日本医師会)
http://www.med.or.jp/forest/check/k_menu.html

検査項目、基準範囲または正常値(参考値)、備考、健康へのアドバイスを掲載。

ポイント

疾患について調べたいときは、その病気の本だけではなく、上位の分野(糖尿病【図書請求記号 493.123】なら、内科学【493】など)の資料も見てみましょう。また、看護学【492.9】の資料は、図や写真が多く、一般の方でもわかりやすくおすすめです。



医療機関・医師を探す

病院やクリニック(診療所)^{*1}を探す時に参考になるインターネット情報や資料を紹介します。各資料の凡例で掲載の基準を必ずご確認ください。

また、最新の情報については、該当の病院に直接お問い合わせください。

インターネット情報



埼玉県医療機能情報提供システム 《対象:埼玉県内の病院・クリニック》
(埼玉県保健医療部) <http://www.iryu-kensaku.jp/saitama/>
埼玉県内の病院、クリニック、薬局、助産所の検索の他、目的別(在宅医療、セカンドオピニオン等)の検索ができ、検索結果の比較も可能です。



専門医ナビ 《対象:全国の病院・クリニック》
(株式会社 医療新聞社) <http://www.senmon-i.com/>
診療科目、病名・治療法、専門医、専門外来、設備・セカンドオピニオン、人間ドック等の条件から検索できます。



病院機能評価結果の情報提供 《対象:全国の病院》
(公益財団法人 日本医療機能評価機構) <http://www.report.jcqh.or.jp/>
日本医療機能評価機構が、病院の運営管理と提供される医療について一定の水準を満たしていると評価した「認定病院」の検索が可能です。



世界の医療事情 《対象:各国の医療施設》
(外務省) <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>
大使館・総領事館に在勤する医務官が見学・視察した医療施設を記載。各国の衛生・医療事情や予防接種等の情報も紹介されています。

図書

- 『埼玉県病院・救急診療所名簿』(埼玉県保健医療部医療整備課)(年刊)
- 『関東病院情報』(医事日報)(年刊)
- 『病院の実力 総合編』(読売新聞東京本社)(年刊)
- 『手術数でわかるいい病院』(朝日新聞出版)(年刊)
- 『新「名医」の最新治療』(朝日新聞出版)(年刊)

「名医」「名病院」
を選ぶ基準は、
本によりさまざま
です!

^{*1} 「病院」とは「20人以上の患者を入院させるための施設」、「診療所」とは「患者を入院させるための施設を有しないもの又は19人以下の患者を入院させるための施設」(「医療法」第一条の五)

薬について調べる

今飲んでいる薬の効能や副作用について知りたい。価格を比べたい...
医師の処方で使用される「医療用医薬品」、薬局などで市販されている
「一般用医薬品」、漢方薬を調べる時に役立つ情報をご紹介します。

医療用医薬品

不明な点は必ず医師や薬剤師に相談しましょう



PMDA（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構） <http://www.pmda.go.jp/>
訪問者別メニューから「医療従事者向け」を選択し、「医療用医薬品の添付文書」を選択すると、「医療用医薬品 情報検索」で添付文書の検索、閲覧が可能です。副作用情報のデータが詳細。また、「一般用医薬品の添付文書」で一般用医薬品の添付文書も閲覧できます。



おくすり110番（ファーマフレンド） <http://www.jah.ne.jp/~kako/>
「病気別の薬フォルダー」では病気別に病院でよく使われる薬の解説、「ハイパー薬事典」では薬の効能や副作用・注意点などを調べられます。先発医薬品とジェネリック医薬品（後発医薬品）の薬価比較も可能です。



かんじゃさんの薬箱（日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会）
<http://www.generic.gr.jp/>
先発医薬品とジェネリック医薬品の薬価比較もできるほか、ジェネリック医薬品の積極処方を行っている全国の病院・医院、薬局の検索が可能です。



『**JAPIC医療用医薬品集**』（日本医薬情報センター）〔年刊〕
医療用医薬品について、効能・効果、用法・用量、副作用などの情報を掲載。



『**医者からもらった薬がわかる本**』（法研）〔隔年刊〕

一般用医薬品



おくすり検索（セルフ Medikation データベースセンター） <http://search.jsm-db.info/>
一般用医薬品の添付文書が閲覧でき、メーカー希望小売価格等の情報も掲載。



『**JAPIC一般用医薬品集**』（日本医薬情報センター）〔年刊〕

漢方薬

▶ PMDAのウェブサイトも見てみよう





『**JAPIC漢方医薬品集 2014**』（日本医薬情報センター 2014.1）
医療用・一般用漢方製剤について、効能・効果、用法・用量、副作用などの情報を掲載。



『**新一般用漢方処方の手引き**』（じほう 2013.9）

Q.「リンデロン-V軟膏0.12%」の成分・効用について知りたい。

「リンデロン…」は製薬会社がつけた商品名です。一般名（薬剤の成分そのもの）は「ベタメゾン吉草酸エステル」といい、皮膚病に用いられるステロイド薬です。医療用医薬品（医師などが処方する薬）のため、一般用医薬品（薬局などで市販する薬）を調べるツールには載っていません。

 インターネットで調べる  p.12


 **PMDA**（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）

「医療用医薬品 情報検索」ページで、一般名・販売名に「リンデロン」と入力して検索すると、「リンデロン-V軟膏0.12%」の「添付文書」を見ることができます。組成（成分、含量、添加物）、効能・効果、副作用など「リンデロン-V軟膏0.12%」についての詳しいデータが載っています。内容は専門家向けです。

 **おくすり110番**（ファーマフレンド）

「ハイパー薬事典」で、一般名・販売名に「リンデロン」と入力して検索すると、「リンデロン-V軟膏0.12%」の一般名「ベタメゾン吉草酸エステル」の作用、特徴、効能、副作用などを見ることができます。一般向けにわかりやすく解説されています。

 県立図書館の資料で調べる

 『JAPIC医療用医薬品集 2018 2巻』（日本医薬情報センター 2017.8）

「50音索引」で「リンデロン」を引くと、「ベタメタゾン吉草酸エステル」の項目に、他の製品と共にリンデロン-V軟膏が掲載されています。「ベタメゾン吉草酸エステル」について、「組成」「効能・効果」「用法・用量」「禁忌」等の情報があります。

ポイント

薬の情報は随時改訂されていますので、改訂年月日に注意しましょう。最新の情報を確認するには「PMDA」のウェブサイトが便利です。また、薬局で購入できる一般用医薬品は、「OTC医薬品」「市販薬」と表記されることもあります。



健康食品・サプリメントについて調べる

「〇〇に効く!」「△△%の人が効果を実感!」魅力的なフレーズが目を引く健康食品やサプリメント。しかし、それは本当でしょうか? どんな成分が入っていて、その成分は何に効果があるのか。そもそもきちんと安全性が確認されているのか。まずは、自分で調べてみるのが大切です。

インターネット情報



「健康食品」の安全性・有効性情報

(国立研究開発法人 国立健康・栄養研究所) <https://hfnet.nih.go.jp/>
「話題の食品・成分」「被害関連情報」「素材情報データベース」等を掲載。安全性・有効性を含めた詳細なデータが確認できます。



「健康食品」のホームページ (厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoushokuhin/hokenkinou/

「健康被害情報」「無承認無許可医薬品情報」など、健康食品の安全性に関する情報が公開されています。



「統合医療」情報発信サイト

(大阪大学) <http://www.ejim.ncgg.go.jp/public/index.html>

統合医療は、近代西洋医学を前提に、補完・代替医療を組み合わせる療法です。「情報の見極め方」や健康に関する情報のリンク集など、統合医療に関する情報が公開されています。

図書



『健康食品・サプリメント〈成分〉のすべて 2017』

(日本健康食品・サプリメント情報センター 2017.1)

アメリカの「ナチュラルメディスンデータベース」の日本対応版。成分別に効き目や安全性、医薬品との相互作用、投与量の目安が記載されているほか、症状・病態別の有効性など各種データも掲載されています。



『健康食品・サプリメント 医薬品との相互作用事典』

(日本医師会〔ほか〕総監修 同文書院 2017.8)

医薬品名(一般名)から相互作用のある健康食品を調べることができ、また逆に、健康食品の成分から相互作用のある医薬品を調べることができる事典です。

毎日飲んでも大丈夫かな?



Q. ヒアルロン酸が変形性関節症に効くのか知りたい。

 県立図書館の資料で調べる



『健康食品・サプリメント〈成分〉のすべて 2017』

(日本医師会総監修 日本健康食品・サプリメント情報センター 2017.1)

ヒアルロン酸の関節注射による、変形性関節症への効果を「断言できないが効能の可能性が科学的に示唆されている」とし、効果には個人差があるとの指摘をしています。



『健康食品・サプリメントの事典』(鈴木洋著 医歯薬出版 2011.2)


関節炎への関節注射としての利用について書かれています。ただし経口摂取での吸収や効果についての詳細は明らかではないとしています。



『日経ヘルスサプリメント事典 第4版』(日経ヘルス編 日経BP社 2011.3)

医師が処方する医薬品として、変形性膝関節症の軟骨保護治療に用いられていると説明しています。経口摂取時の効果については書かれていません。



インターネットで調べる  p.14



「健康食品」の安全性・有効性情報 (国立研究開発法人 国立健康・栄養研究所)

概要、成分、有効性、安全性など詳しい参考情報と出典資料があります。薬効については「関節内投与で骨関節炎の治療に有効性が示唆されている」とされています。参考文献の記載もあり。

ポイント

健康食品やサプリメントについて調べる時は、商品名ではなく成分名で探しましょう。各資料・インターネットサイトによっては、栄養成分の効果の記述が異なる場合があります。いくつかの異なる情報を比べてみましょう。健康食品を利用して、体調が悪くなった場合は、直ちに利用を中止し、医療機関を受診しましょう。また、お近くの保健所や消費生活センターでも、健康食品による被害についての相談を受け付けています。

(ウェブサイト「「健康食品」の安全性・有効性情報」より)

※保健所の連絡先一覧 (埼玉県)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/hokenjo/hokenjo-itiran.html>

診療ガイドライン

最新の診療ガイドラインは、医療の標準として、医師だけでなく患者さんにとっても参考になります。そこで、知っておきたいインターネット情報や、図書として出版されている診療ガイドラインをご紹介します。

診療ガイドラインとは

特定の病気について、医学専門学会などにより、科学的な根拠に基づいて作成される、標準的な治療方法を示した文書です。

- ※ 全ての病気について作成されているわけではないこと、全ての患者さんの治療にそのまま適用できるものではないことにご注意ください。
- ※ 改訂版の刊行状況を確認し、最新の情報を入手しましょう。

インターネット情報



Minds ガイドラインライブラリ（公益財団法人 日本医療機能評価機構）
<http://minds.jcqh.or.jp/>

「メインメニュー」から診療ガイドラインの検索ができ、一部のガイドラインは本文の閲覧が可能です。一般向けのガイドライン解説も公開されています。



東邦大学・医中誌 診療ガイドライン情報データベース
(東邦大学医学メディアセンター、医学中央雑誌刊行会) <http://guideline.jamas.or.jp/>
どのようなガイドラインがあるか検索でき、一部のガイドラインは、リンク先から本文の閲覧が可能です。

図書での出版 例



『科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 1 治療編 2015年版』
(日本乳癌学会編 金原出版 2015.7)

病気によっては
患者さん向けの
ガイドラインも
刊行されています



『患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2016年版』
(日本乳癌学会編 金原出版 2016.6)



参考 (要約した図書)



『ガイドライン外来診療』(日経メディカル開発)〔年刊〕
日常外来診療の疾患を対象に、最新の診療ガイドラインをもとに編集。



『診療ガイドライン要覧』(水田吉彦著 秀和システム 2014.11)
主要な疾患のガイドラインを分かりやすく要約して1冊にまとめたもの。

闘病記・患者会を探す

闘病記を探す

「闘病記」は病気にかかった患者や家族がつづった体験記です。病気と向き合う
勇気や知恵を与えてくれます。ただし、闘病記は個人の主観に基づいて書かれて
いることが多いので、治療法等は医学書を確認しましょう。



闘病記文庫のリスト (東京都立図書館)

http://www.library.metro.tokyo.jp/reference/central_library/health_medical/tabid/418/Default.aspx

都立図書館で所蔵する闘病記を、病名ごとにリスト化したPDFファイルがダウンロードできます。随時更新。



TOBYO (株式会社イニシアティブ) <http://www.toby.jp/>

インターネット上で公開されている闘病記を探せるサイト。TOBYO図書室では、病名、部位・分野別、発症時の年代・性別から絞り込みも可。



健康と病いの語り ディペックス・ジャパン

(認定特定非営利活動法人 健康と病いの語りディペックス・ジャパン)

<http://www.dipex-j.org/>

個々の患者の病気や医療体験の語りをインタビュー映像で提供。現在、「認知症」「乳がん」「前立腺がん」などの体験が公開されている。



『闘病記専門書店の店主が、がんになって考えたこと』

(星野史雄著 産経新聞出版 2012.10)

さいたま市で闘病記中心にオンライン古書店を営んでいた店主が「がんとの闘い方」を伝授する自伝的ドキュメント。オススメ闘病記リストも掲載。

患者会を探す

地域の患者会・支援団体では悩みを話す場を提供したり、病気や治療、日常生活などの情報交換をしています。同じ病気で集まった人たちとのつながりは、不安な気持ちを軽くし、心の支えとなるでしょう。



患者会・患者コミュニティサイトリスト

(いいなステーション) <http://www.e7station.com/html/kanja-kai/>

『全国「患者会」ガイド 最新版』(学習研究社 2004.9)

『がん！患者会と相談窓口全ガイド』(三省堂 2007.5)

の2冊の内容を更新して、患者会リストを提供。体の部位、病名別。

がんの情報を入手する

がんは情報戦。がんと向き合うためには、正しい情報を入手することが大切です。そこで、患者として知っておきたい情報や資料、その入手先などをご紹介します。

埼玉県立久喜図書館

がん情報コーナーのご案内

がんの基礎知識や治療法などの全般的なものや、各種がんの図書約500冊をご利用いただけます。

また、お持ち帰り用の専門機関発行のがん治療に関するパンフレットも多数ご用意し、がんについて幅広い情報をご提供しています。



はじめに読みたい本

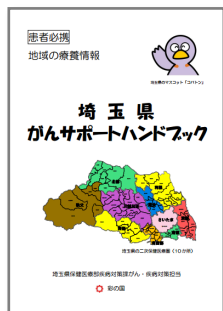


『埼玉県がんサポートハンドブック』

(埼玉県 保健医療部 疾病対策課 随時改訂)

がんと診断されたり治療を受ける時に役立つ情報が掲載されています。

内 容



- 1 がんと言われたとき
- 2 がんに向き合う
 - ・がんに関する相談窓口
 - ・緩和ケア
- 3 各種支援制度について
 - ・医療費、生活支援、障害支援、子供向けの支援など
- 4 県内の医療連携体制
 - ・がん診療連携拠点病院
 - ・埼玉県がん診療指定病院
 - ・がん診療対応医療機関
 - ・セカンドオピニオン外来実施医療機関
 - ・埼玉県医療連携手帳 (がん地域連携クリティカルパス)
- 5 県内の各機関の問合せ先

はじめに知って
おきたい情報が
満載だよ



ハンドブックは、疾病対策課ウェブサイトからダウンロードできます



がん対策 (埼玉県保健医療部疾病対策課)

<http://www.pref.saitama.lg.jp/kenko/iryoo/gan/index.html>

がんについて知りたいときの基本の図書



『がんになったら手にとるガイド 患者必携 普及新版』

(国立がん研究センターがん対策情報センター編著 学研メディカル秀潤社 2013.9)
療養生活での不安・悩みへの対応や診療・治療について、患者さん、家族の視点でまとめた本です。

▶ 下記「がん情報サービス」で最新版の冊子がダウンロードできます。

専門雑誌も見てみよう



雑誌『医学のあゆみ』（医歯薬出版）

臨床を中心に、基礎医学も含めた医学全領域の最先端の情報を速報する週刊誌。がんに関する特集を頻繁に組んでいます。



雑誌『緩和ケア』（青海社）

緩和ケアを行っている医療関係者が多数執筆しており、一般病棟だけでなく、在宅のケアの場面でも役に立つ内容を掲載。

診療ガイドラインはがん情報の基本 ▶▶▶ p.16



がん診療ガイドライン（日本癌治療学会）<http://www.jsco-cpg.jp/>

各種がんの最新のガイドラインの情報を掲載しています。インターネット上で閲覧できるガイドラインには、リンクが貼られています。

インターネット情報

インターネットでは疑わしい情報も氾濫しています。そこで、ここでは最新情報の入手先として信頼性の高いサイトをご紹介します。



がん情報サービス（国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策情報センター） <https://ganjoho.jp/public/>

一般向け、医療関係者向けに、各種がんの解説、予防・検診方法、標準治療など様々な情報を提供しています。医療機関や、相談支援センター（無料の相談窓口）などの検索もできます。



がん情報サイト PDQ日本語版（公益財団法人 先端医療振興財団 臨床研究情報センター（TRI）） <http://cancerinfo.tri-kobe.org/>

米国国立がん研究所（NCI）が配信する世界最大・最新のがん情報データベース（Physician Data Query）の日本語版を提供。科学的根拠に基づくがん情報の要約の閲覧、臨床試験情報の検索が可能です。

無料

がんの相談窓口

誰かに相談したい...治療のこと、これからの生活、様々な疑問がわいた時には。

がん相談支援センター ▶▶▶ p.18「がんサポートハンドブック」に施設一覧掲載

がん診療連携拠点病院（国指定）と、埼玉県がん診療指定病院に設置されている、がんの相談窓口です。がんに関する治療や療養生活全般のこと、地域の医療機関などについて、無料で対面や電話で相談できます。かかりつけの病院以外でも可。

がん相談・サポート（公益財団法人 日本対がん協会） http://www.jcancer.jp/consultation_and_support

電話 03-3541-7830
毎日（祝日年末年始除く）10～18時

生活関連の電話相談を看護師や社会福祉士が無料で受けています。
このほか、事前予約で専門医による無料の面接、電話相談もあります。

就労セカンドオピニオン～電話で相談・ほっとコール～

電話相談の前にウェブサイト
で申込が必要です

（一般社団法人 CSRプロジェクト）<http://workingsurvivors.org/secondopinion.html>

雇用継続や職場の対応、就職や復職に際して悩みや不安を抱えるがん患者さんやご家族に対して、ソーシャルワーカー、社会保険労務士、産業カウンセラー、キャリアカウンセラーなどが電話で相談に応じています。無料で利用できます。

がん患者会・支援団体 ▶▶▶ p.18「がんサポートハンドブック」も参照

他の人はどうしているの？話をききたい、話がしたい。



がん
全般

すみれ会

がんを抱えている方々の交流・情報交換活動を行っています。原則第3金曜日（1月、8月を除く毎月開催）13:30～16:00に、はびすしらおか内でがん患者交流会「すみれサロン」や女性のための患者さんの集い「すみれCafé」を随時開催しています。
白岡市社会福祉協議会：0480-92-1746

乳
がん

あけぼの会 あけぼの埼玉 <http://www.akebono-net.org/>

全国組織の乳がん患者会。ニュースレターの発行、講演会の開催、勉強会、交流会、相談支援等や、医療大学での教育活動、一般の方々への、啓発活動もしています。
e-mail: toyoko_mochida@yahoo.co.jp 電話：090-7840-6563

乳
がん

Cava! (サヴァ)～さいたまBEC～ <http://blog.goo.ne.jp/cava2011>

さいたま市内で乳がん体験者の方を対象に、おしゃべり会やヨガなど様々なイベントを開催しています。
e-mail: cava2011@mail.goo.ne.jp

がん
全般

なごみサロン（リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま）

<http://relayforlife.jp/saitama/nagomisalon/>

毎月第3土曜日、さいたま市民活動サポートセンター又はその周辺で、がん患者、家族の方たちが気楽に話し合いを出来る場として、「なごみサロン」を開催しています。
e-mail: rflsaitama2009@gmail.com 電話：080-8191-5718 [吉岡]

がん
全般

NPO法人 みらいねっと <https://npomirainet.org/>

がん経験者とがん患者の家族が集まって設立された市民活動団体で、活動メンバーは全員カウンセラー資格保有者です。主にさいたま市内で「がんピア・サロン」（第3火曜日午後）や講演会、勉強会等を開催しています。
電話 / FAX：048-865-0186 e-mail: info@npomirainet.org






●事例 病气(がん)について調べる

Q. 血液のがんである、多発性骨髄腫に関する資料を探している

県立図書館の資料で調べる

インターネットサイト「がん情報サービス」で最新版の冊子がダウンロードできます。

▶▶▶ p.19

-  『多発性骨髄腫 第2版』(国立がん研究センター 2012.3)
国立がん研究センターがん対策情報センターの患者向けパンフレット。がん診療の流れをわかりやすく解説しています。
-  『多発性骨髄腫の診療指針 第4版』(日本骨髄腫学会編 文光堂 2016.9)
専門家向けですが、標準的な診断基準や治療方法を知ることができるガイドラインです。
▶▶▶ 診療ガイドラインについては p.16 へ
- 雑誌記事では
-  特集「慢性疾患となった骨髄腫」(『内科 120巻4号』 南江堂 2017.10)

オンラインデータベースで調べる(県立久喜図書館内で利用できます)

最新の情報については、雑誌や新聞記事も探してみましょう。



医中誌web ▶▶▶ 詳しい紹介や論文の入手方法は p.27 へ

<多発性骨髄腫>をキーワードに検索すると、最近5年間に刊行された文献だけで3千件以上の専門論文がヒットします。



JDreamIII 多発性骨髄腫に関する英語論文の抄録を日本語で読めます。

インターネットで調べる

専門論文は、無料で公開されている下記のデータベースでも探すことができます。

[JAIRO] [J-STAGE] ▶▶▶ 詳しくは p.27 へ

[国立国会図書館サーチ](国立国会図書館) <http://iss.ndl.go.jp/>

ポイント

がんの治療法やリハビリ、食事療法については、各種がんの図書とは別に刊行されていることがあります。さらに詳しく調べたい方は、当館作成のがん資料リスト「がん、もっと知りたい!」もご覧ください。

がんと仕事やお金についての図書も紹介しています。

県立図書館「がん情報コーナー」のページ

https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/health/cancer.html

認知症・介護情報について調べる

高齢化が進み、全ての人にとって身近な心配ごとである「認知症」。ただ恐れるだけでなく、認知症になっても自分らしく暮らし続けられる環境を作っていくためには、正しい知識や情報を持つことが必須です。

認知症について知る



『認知症 Minds 版やさしい解説 (第2版)』 (Minds) <http://minds.jcqh.or.jp/n/pub/3/pub0115/G0000592/0001>

Mindsについて
は p.16 へ

認知症とはどんな病気か、どんな症状がでるのかなどを、わかりやすい言葉と図を用いて、一般の方向けにやさしく解説しています。



『認知症いま本当に知りたいこと101』
(阿部和穂著 武蔵野大学出版会 2017.6)

一般の方が抱く認知症についての疑問を、薬学部教授の著者がわかりやすく解説しています。

利用できる制度やサービスを調べる

まずは 認知症ケアパス を見てみましょう

「認知症ケアパス」とは、いつ、どこで、どのような認知症に関する医療・介護サービスを受けることができるのか、地域の具体的な機関名やケア内容等を記したものです。お住まいの地域のケアパスについては、市町村役所や地域包括支援センターへお問い合わせください。



『相談・支援のための福祉・医療制度活用ハンドブック (2016)改訂版』
(日本医療社会福祉協会編集 新日本法規出版 2016.11)

当事者の状況によって受けられる制度や施設、相談窓口などを一覧化。

悩んだときは、相談しよう



認知症疾患医療センター

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/nintisiosennta.html>

認知症疾患医療センターとは、認知症患者やその家族を医療面から支援するため、県が指定する、地域での認知症医療提供体制の拠点のことです。埼玉県保健医療部疾病対策課が運営する上記ウェブサイトから一覧が確認できます。専門相談員による電話や面談での医療相談、専門医による診断とそれに基づく初期対応、認知症周辺症状への対応などを行なっています。



公益社団法人 認知症の人と家族の会 <http://www.alzheimer.or.jp/>

誰でも入会できる「認知症があっても安心して暮らせる社会」を目指す会です。電話相談では、研修を受けた介護経験者が、認知症に関する相談・悩みなどに対応します。

電話：0120-294-456（携帯・PHS 075-811-8418）
平日10～15時（夏季・年末年始除く）

若年性認知症について調べる

65歳未満で発症した認知症を、若年性認知症といいます。現役世代で認知症になることで、経済的にも困難な状況になり、家族の生活への影響も大きくなります。受けられる制度や、サポートの方法を知っておきましょう。



『本人・家族のための若年性認知症サポートブック』

（小長谷陽子編著 中央法規出版 2010.11）

若年性認知症ならではのわかり方のポイント等を、わかりやすく解説。



若年性認知症コールセンター（社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター） <http://y-ninchisyotel.net/>

若年性認知症に関する様々な相談について、専門の教育を受けた相談員が無料で対応する。相談は通話料無料。

電話：0800-100-2707 月～土（年末年始・祝日除く）10～15時



さいたま介護ねっと

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/kaigo-net/index.html>

埼玉県福祉部高齢者福祉課による、介護関連の総合情報サイトです。
サービス利用者、事業者それぞれに向けて最新情報を発信しています。

サービス利用者の方へ

介護保険のしくみ・利用方法・相談窓口、介護サービス施設・事業所をさがす、指定事業所・施設一覧、高齢者福祉施設の情報、【特養・老健】空床・入所待ち情報提供システム ほか

サービス事業者の方へ

制度、手続、申請等に関する情報

役立つ情報が
いっぱい！



認知症について

認知症の基礎知識、認知症相談窓口、認知症サポート医名簿、認知症疾患医療センター指定医療機関一覧、身元不明者情報 ほか

精神疾患・精神衛生(メンタルヘルス)について調べる

職場、学校、地域社会などで、悩みやストレスを訴える人が増加し、労働者が心の健康を損なうケースが増えてきています。社会や企業、家庭に与える影響も拡大していることから、メンタルヘルスへの取り組みが重要視されています。

精神疾患について調べる



『今日の精神疾患治療指針 第2版』(樋口輝彦編集 医学書院 2016.10)
各精神疾患の専門家が、疾患ごとに病型・病因・診断・療法・家族への対応などを執筆した事典。疾患の概要が知りたいときに便利です。



『DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル』
(American Psychiatric Association〔編〕 高橋三郎監訳 医学書院 2014.6)
米国精神医学会が刊行した、精神疾患の分類のためのマニュアルで、国際的に広く用いられているものです。治療法については掲載がないのでご注意ください。

解説書も多く
刊行されています



『DSM-5を読み解く』 1-5 (神庭重信総編集 中山書店 2014)

埼玉県の相談窓口



埼玉県立精神保健福祉センター

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0606/index.html>

相談窓口や来所予約の紹介があります。心の健康や悩みに関する電話相談も。

埼玉県こころの電話：048-723-1447 平日 9～17時 (祝日・年末年始を除く)
夜間・休日は 精神科救急情報センター：048-723-8699 (平日8時30分～17時以外)
※さいたま市民の方は さいたま市こころの電話：048-851-5771

職場のメンタルヘルス



『ハンドブック 働くもののメンタルヘルス』

(働くもののいのちと健康を守る全国センター編 旬報社 2014.12)

メンタルヘルスの概況と基礎知識、医者へのかかり方までわかりやすく解説。



こころの耳 働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト

(厚生労働省) <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

「働く方」「ご家族の方」「事業者・上司・同僚の方」「支援する方」の4つの立場に向けた情報を提供。各種救済制度や体験記、相談窓口紹介あり。

働く人の「こころの耳電話相談」：0120-565-455

月・火 17～22時、土・日 10～16時 (祝日、年末年始除く)

※その他、パワハラ、労災補償、生活等は専門の相談ダイヤルがあります。

発達障害の情報を入手する

発達障害には、様々なタイプがあり、その特徴や症状も異なります。発達障害について正しく理解し、必要なサポートを知るために、参考になる情報をご紹介します。

埼玉県立久喜図書館

見て・聴いて・感じる読書 コーナーのご案内

印刷された文字が読みにくい方の読書をサポートするコーナーです。音声・絵・文字で読めるマルチメディアテジー、簡単でわかりやすいLL（エルエル）ブックなどの紹介のほか、どなたでも借りられる発達障害関連図書をおいています。



発達障害の理解のために



発達障害情報・支援センター（国立障害者リハビリテーションセンター）
<http://www.rehab.go.jp/ddis/>

発達障害に関する全般的な情報を得られるウェブサイト。乳幼児期、学童期、思春期、青年・成人期等、ライフステージ別からも閲覧可能です。



『データで読み解く発達障害』
（平岩幹男総編集 岡明専門編集 中山書店 2016.5）

自閉症スペクトラム障害（ASD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、学習障害などの発達障害について、データを元に多数の専門家が解説しています。

医学専門雑誌から知る



雑誌『教育と医学』（慶應義塾大学出版会 月刊）

子供、青少年、各種障害児問題などを収載する研究解説誌で、特集「家庭における発達障害の理解と支援」（65巻8号）など、よく関連特集が組まれています。



雑誌『こころの科学』（日本評論社 月刊）

精神医学のみでなく、心理学、教育学、社会学その他の人間科学に関して毎回特集テーマを組み、多くの論文を掲載。特集「職場の発達障害」（2017年9月）など、子供だけにとどまらないテーマを扱っています。

妊活情報を入手する

初産平均年齢が30歳を超え、“晩産化”が進んでいるとされる今。自分らしい妊活（妊娠活動）と向き合う方にとって役立つ資料や、情報の入手先をご紹介します。

埼玉県立久喜図書館

妊活情報コーナーのご案内

妊娠、出産、不妊治療(男女)、少子化の原因などに関する資料や情報のほか、女性の病気に関する図書や、育児関連資料も一緒にご紹介しています。

現在子供を持ちたいとお考えの女性や妊娠中の方はもちろん、男性も含む幅広い年齢層の方々にご活用いただきたいと願っております。

内容

- 1 生殖医療の現状と話題
- 2 不妊治療・卵子老化・高齢出産について知る
- 3 妊娠・出産のしくみと話題
- 4 妊娠中のできごと・疾患、妊娠とくすり
その他：女性の病気、育児関連資料も



不妊治療って何をするの？

- 『不妊治療を考えたら読む本』（浅田義正, 河合蘭著 講談社 2016.7）
専門医と出産ジャーナリストが、科学的根拠に基づいて解説。読み物としても。
- 『不妊症・不育症 インフォームドコンセントのための図説シリーズ 改訂3版』（苛原稔編 医業ジャーナル社 2016.1）
原因、検査、治療について、図を多用し分かりやすく解説した入門書。
- 『図説よくわかる臨床不妊症学』（中外医学社）
一般不妊治療編 第3版(2016.4), 生殖補助医療編 第3版(2018.1)
不妊症治療up to date(2012.8)
原因、検査、治療の実際を解説。医師向けですが、詳しく知りたいときに。

不妊相談窓口，治療費助成，医療機関，専門医，サポート団体

詳しくは 埼玉県立図書館ウェブサイト「妊活情報コーナー」のページで！

https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/health/ninkatsu.html
調べ方案内「不妊治療について調べる」や関係機関のリンク先をご紹介します。

専門論文を探す

「病気の診断や治療の根拠となる、論文やデータを確認したい」「先端医療や最新の研究情報が知りたい」そんな時は、データベースを使って専門論文を探してみましょう。

インターネット情報



JAIRO（国立情報学研究所） <http://jairo.nii.ac.jp/>

日本の学術機関リポジトリに蓄積された学術情報（学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等）を横断的に検索できるデータベースです。



J-STAGE（国立研究開発法人 科学技術振興機構）

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/>

国内の学協会が発行した学会誌、論文誌の全文を読むことのできる電子ジャーナルのプラットフォームです。



PubMed（米国国立医学図書館） <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed>

世界最大の医学文献データベース。世界の主要医学系雑誌の掲載論文を検索することができます（英語）。



CiNii Articles -日本の論文を探す-

（国立情報学研究所） <http://ci.nii.ac.jp/>

学術論文情報を検索対象とする論文データベースです。無料で一般公開されている論文もあります。

オンラインデータベース



医中誌Web（特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会）

国内で発行された医学・看護学等の定期刊行物、のべ約5,000誌から収録した約750万件の論文情報（書誌的事項や一部の抄録など）を検索できます。



JDreamIII（株式会社 ジー・サーチ）

科学技術や医学・薬学関係の国内外の文献情報を検索できる、日本最大級の科学技術文献データベースです。海外文献は、日本語による抄録を掲載しています。

どちらのデータベースも、県立久喜図書館内で無料でご利用いただけます。検索結果のコピーは1枚10円。論文本文は、限られた文献しか収録されていません。



論文の入手方法

当館に所蔵のない論文の複写については、職員にご相談ください。

県内医療相談窓口

相談内容	電話番号	受付時間	機関	Webサイト等
医療安全 医療機関のこと	048-830-3541	月～金(祝休日除く) 9:00～16:00	埼玉県保健医療部 医療整備課	http:// www.pref.saitama.lg.jp/ a0703/anzensodan/ index.html
くすりのこと (薬事相談室)	048-830-3637	月～金(祝休日除く) 9:00～12:00, 13:00～16:00	埼玉県保健医療部 薬務課	http:// www.pref.saitama.lg.jp/ a0707/soudan- soudan.html
妊娠・不妊・不育 症に関する相談	048-799-3613	月・金 10:00～15:00 第1・3土曜日 11:00～ 15:00 / 16:00～19:00	埼玉県保健医療部 健康長寿課	http:// www.pref.saitama.lg.jp/ a0704/boshi/sodan.html
難病に関する 相談(医療)	048-768-3351	月～金(祝休日除く) 10:00～16:00	埼玉県難病相談 支援センター	http://esaitama.org/ nanbyo/soudan/ iryuu.html
難病に関する 相談(生活)	048-834-6674	月～金(祝休日除く) 10:00～16:00	一般社団法人埼玉県障 害難病団体協議会	http://www2.tbb.t- com.ne.jp/snk/ NewPage/contents/ shien.html
精神的な病気、 引きこもりなど	来所相談予約受付 048-723-6811	月～金(祝休日除く) 9:00～17:00	埼玉県立精神保健 福祉センター	http:// www.pref.saitama.lg.jp/ b0606/p-soudan/ confer2.html
心の健康や悩み (こころの電話)	048-723-1447			http:// www.pref.saitama.lg.jp/ b0606/p-soudan/kokoro- tel.html
発達障害者支援 に関すること	049-239-3553 049-239-3554	月～金(祝休日除く) 9:00～12:00, 13:00～17:00	埼玉県発達障害者 支援センター 「まほろば」	http:// www.mahoroba.server- shared.com/
薬物問題に 関すること	048-822-4970	月～金(祝休日除く) 8:30～17:15	公益財団法人埼玉県 暴力追放・薬物 乱用防止センター	http://www.boutsui- saitama.or.jp/

最寄の保健所・市町村保健センターでも、健康・医療全般
に関する相談を受けられます。
(県内保健所一覧：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/5503.html>)

どこに相談して
良いかわから
ない時は…



県内の専門図書館

さらに専門的な資料をご覧になりたい場合、医療に関する専門図書館を利用するという方法があります。埼玉県内の専門図書館をご案内します。

公立大学法人 埼玉県立大学情報センター



県立大学の図書館で、保健医療福祉分野の図書約10万冊と、約360誌の専門雑誌を所蔵しています。

県民または県内に在勤・在学で18歳以上であれば利用が可能です(乳幼児の同伴は不可)。また、図書については県内の公立図書館を通じて取り寄せることができます。

所在地：〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820／電話：048-973-4122

ウェブサイト：<https://www.spu.ac.jp/library/>

国立保健医療科学院図書館



保健、医療、福祉、生活環境等を含む公衆衛生分野に関連する資料、厚生労働省の報告書やWHOの刊行物等を所蔵しています。

ウェブサイトでは、OPACの他「厚生労働科学研究成果データベース」「イギリス公衆衛生史コレクション」等を公開。

WHOレファレンスライブラリに指定されており、事前予約をし、身分証明書を提示すればどなたでも利用できます。

所在地：〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6／電話：048-458-6209

ウェブサイト：<https://www.niph.go.jp/toshokan/>

上記2館の図書は、県内の公共図書館等から取り寄せができます。
(種類により不可のものもあります) 最寄の図書館へお問合せください。





埼玉県マスコット「さいたまっち」

自然科学と
芸術・文学の

埼玉県立久喜図書館

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5
電話 0480-21-2659
FAX 0480-21-2791

JR及び東武線 久喜駅西口 徒歩20分

<https://www.lib.pref.saitama.jp/>

携帯用QRコード

